

日刊 動労千葉

85. 9. 19

No. 2043

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

私な当処分許せど

<全国>

戒告	200名
訓告	52,000名
厳注	7,000名
計	59,200名

<千葉局> (全体)

1) 戒告	3名
訓告	317名
厳注	1,460名
計	1,780名

(系統別)

	訓 告	厳 注
2) 運転	117名	300名
営業	110名	480名
施設	70名	600名
電気	20名	80名
計	317名	1,460名

3) 運転

	訓 告		厳重注意	
新小岩	11名	動労千葉 10名 全動労 1名	61名	
津田沼	29名	動労千葉 12名 国 労 6名 全動労 1名	1名	
幕張	0名		0名	
千葉転	29名	動労千葉 14名 国 労 14名 全動労 1名	162名	動労千葉 82名 国 労 80名
木更津	3名		14名	
館山	5名		5名	動労千葉 4名 国 労 1名
勝浦	11名		37名	
佐倉	7名	動労千葉 6名 全動労 1名	4名	
成田	9名		15名	
銚子	6名	動労千葉 4名 国 労 2名	0	
計	110名	動労千葉 74名 国 労 32名 全動労 4名	299名	動労千葉 218名 国 労 81名
新小岩貨	7名		1名	
再計	117名	動労千葉 74 国 労 39 全動労 4	300名	動労千葉 219 国 労 82

怒りの30万の怒りの国鉄をメスで反撃せよ

全国で五万九千二百名、千葉局で約千八百名というワッペン闘争への大量不当処分に対し、断固として怒りの総反撃に起て。ワッペン闘争は全く正当な組合活動である。だからこそこれまで処分などできなかつたのだ。当局は、「7・26答申」を期してこれまでの労使関係の一切をぶち壊し、力づくで労働運動破壊を行おうとしている。国鉄労働者をナメルのもいいかげんにしろ。あらゆる手段で不当処分粉碎へつきすすめ。

あらゆる手段で反撃せよ

今回のワッペン処分の特徴は、①国鉄史上初めて示されるように、正当な労働組合運動そのものを認めない所に当局がふみこんだこと。②全国約六万五千人に一人という許しがたい大量処分であること。③訓告・厳注で五万九千人に示されるごとく、量刑をあたかも「軽く」見せ、内容においても選別的であること、怒りをおさえつけ、分断し闘争を圧殺しようとしていることである。

まさに卑劣きわまりない凶暴な攻撃である。これに反撃せず、思うつぼにはまったら、当局に完全にナメられ、一気

に叩きつぶされるのは必至だ。

怒りを爆発させ、

十一月第一波ストへ

労働者にとって処分に重・軽はない。処分は労働者に屈服をせまるものであり無条件に粉碎の対象以外のなものでもない。ましてや、八七年四月までに十万人の「過員」を生み出し、それを選別し、首を切り、生活を奪う、そのふりわけと、反抗を封ずるための処分をどうして許せるのか。抗議行動・抗議集会を始め、全組合員の怒りを行動に表わし、あらゆる手段をつくして反撃に起とう。その力で十一月ストをぶちぬこう！